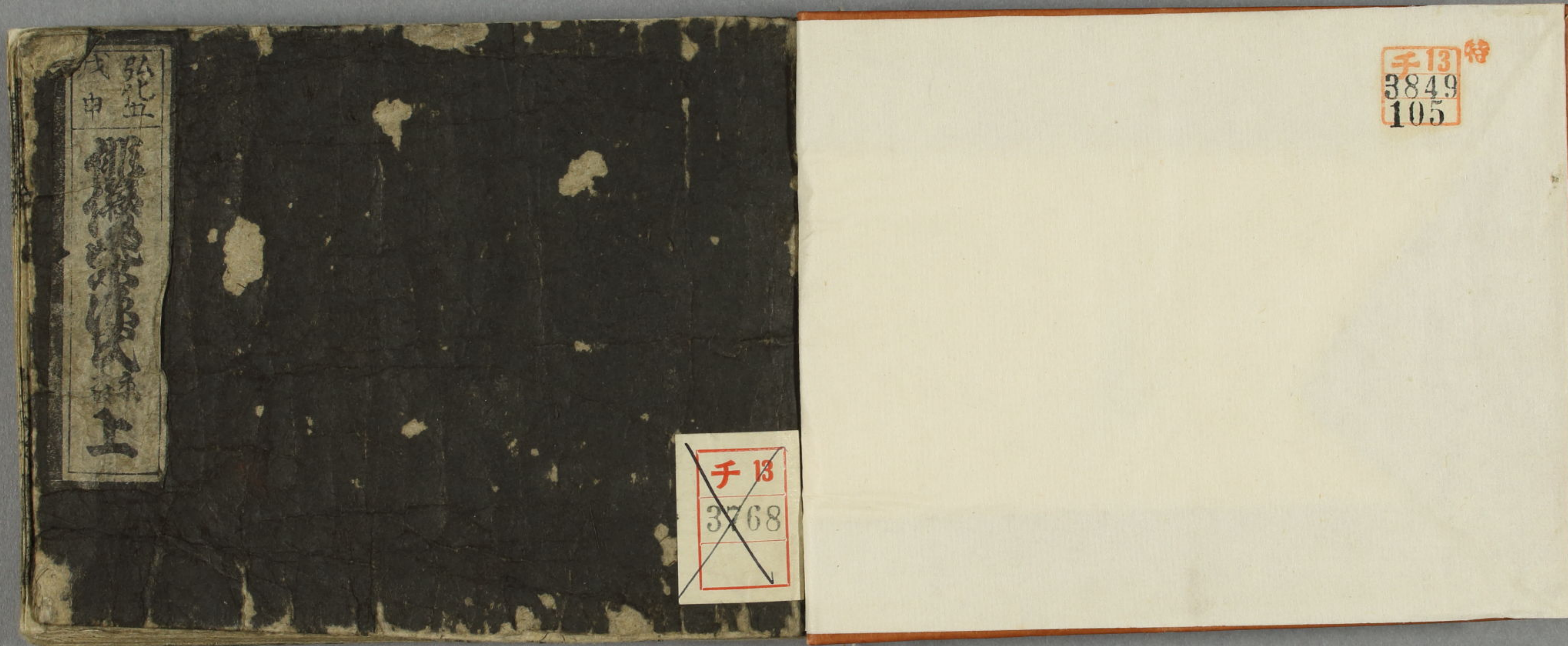
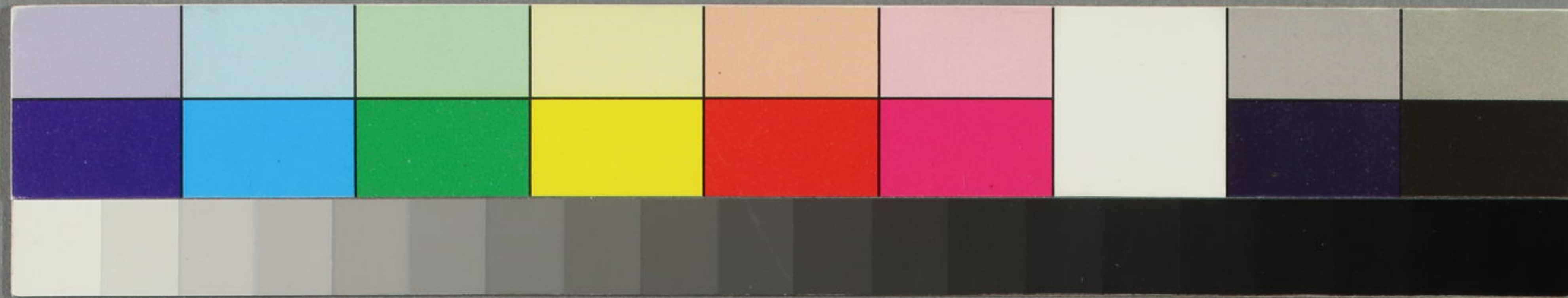


役者評判記

刊
3849
105





弘化五
申

那波宗清次上

~~子 13
3768~~

子 13 特
3849
105



チ 13
3768

13
768

105

佛傳次第

系大坂目錄

藝事

物櫓の西幕ハ

カサハ水堂

とれたるあゝ布目

本庄の續

とれたるあゝ觀世水

核妻の丸籠

白ひらき丁子引

舞臺の懸

三役乃殿中

茶

上

魚吹のついでに舞

庭子乃世免

娘のこの姿風を

たばうの熱は梅庭

吹あびりす

艶姿彼乃舞庭

花と強がり

美娘のこの姿麗花

顔の世に後ひつる勢もぬ

髪留乃束廣

産中へのとどまらず

まき歩金の花結

系大の天の雲の舞の目録

系大の天の雲の舞の目録

行田の雲の舞の目録

行田の雲の舞の目録

△凡そ源氏や平は非名用よりたのぞ

△此下は當時の又後りの部あり

大書 三後巻頭 竹田

のいともつらうえつとぬ相堂

上上吉 花方三幅判 竹田

之役と女形とつと合せる意

上上吉 実川延三郎 竹田

とを中よりとれを助れかぬ

上上吉 斤圓式量 竹田

芝居は死志の後へるこみ

▲三後巻頭

上上吉 嵐井三郎 竹田

仕内とまのいそぐふ竹

上上吉

岩橋 松 糸

何役でも換りあせらる 揚

上上吉

市川市 糸

は舞のどんぐりとのびる 舞

上上吉

中村 糸

大方より月乃丸なる 舞

上上吉

中村 糸

毛虫の大方よくとく 舞

上上吉

浅尾 糸

仕内へチトのころへ 舞

上上吉

市川 糸

山親父のむぎとまのり 舞

上上吉

岩橋 糸

ちや角やのりうす 舞

上上吉

中村 糸

仕内へチトのころへ 舞

上上吉

市川 糸

とまのり 舞

上

嵐 糸

小川 糸

市川 糸

市川 糸

市川 糸

中村 糸

三井 糸

市川 糸

いれをかやとらとてしとく 舞

上上吉

小川 糸

いれをかやとらとてしとく 舞

上上吉

市川 糸

上上吉

市川 糸

上上吉

市川 糸

真やま

とんととまのり 舞

▲実西坂後藤部

上上吉

中村友三 竹田

上上吉

中村友三 竹田

上上吉

中村俊五郎 竹田

上上吉

市川市友 竹田

上上吉

浅尾奥山 竹田

上上吉

中山伊三郎 竹田

上上吉

中山伊三郎 竹田

上上吉

中村拉車 竹田

上上吉

中村拉車 竹田

仕内いめそのとこころあめまはら

実川龍彦 竹田

板東大八 竹田

中山伊三郎 竹田

実川菊彦 竹田

三井信太郎 竹田

竹田市次郎 竹田

中村秋太郎 竹田

竹田市次郎 竹田

市川龍彦 竹田

竹田市次郎 竹田

竹田市次郎 竹田

竹田市次郎 竹田

竹田市次郎 竹田

竹田市次郎 竹田

竹田市次郎 竹田

竹田市次郎 竹田

竹田市次郎 竹田

竹田市次郎 竹田

上上吉

中村東彦 竹田

上上吉

上上吉

このでもか後いそよあひ様

▲実悪巻頭

大上書 行岡市藏 竹田

▲若女形之部

中山南枝 日

上書 嵐三三 日

上書 伏村其巻 日

上書 実川勇次郎 竹田

上書 嵐富三郎 日

上書 中村千太郎 日

上書 中山一徳 日

上書 佐藤花井 系

上書 中村梅花 △

上書 後川八彦 竹田

上書 尾上美後 日

上書 尾上三郎 日

上書 中村次郎 日

上書 行長 日

上書 中村英士 日

上書 丹保 日

上書 山下金作 日

女取巻抽

尾上三郎

尾上三郎

尾上三郎

尾上三郎

尾上三郎

尾上三郎

尾上三郎

之系也乃よん 項下

嘉吉

▲若女形後見

中村秋右

ちくご

▲いかに出ると一統目後見後見

市川猿蓑

尾上和市

三舞稲丸

実川延次郎

市川猿蓑

市川白糸

中村若菜

市川巳之助

實川延之助

嵐和三郎

嵐園

中村梅彦

▲頭

市川市花

市川高藤

市川猿蓑

市川周六

市川新三郎

浅尾五三郎

木場清彦

中村富太郎

中村万六

市川仲六

▲大塚吉

▲惣後見

市川海老蔵

▲皆一... 市川方之部

以法

系小がご

長瀬湖出市三席

一はう行年森を夫

三法田中他を席

一法 湯沢小市

一曰 松出郊三席

一曰 湯沢和布

一はう 竹本安を夫

行 曰

長瀬五村芝探

一法 雲崎懸渡席

一はう 行年南を夫

一法 龜沢笑男

一法 湯沢照造

後

長瀬中村勇夫

一はう 行年杉を夫

一法 中村新三席

一法 湯沢懸渡席

▲狂言化考之部

全沢探三

葉村光助

湯回馬籠

奈河榮平

揚羽三津助

松懸亭助

奈河壽助

天鼓

炭

辰

辰

並木左門

榎井普作

嶺妻貞高

日

後

奈河十八助

近

奈河政橋

千穂系榮之助

右身にて南極波動の如き時より始りてよ
 分れし後極を遷て其後[]
 此に[]の[]
 長[]
 右極南極をえんの[]

[]
 []

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

[]

行え常切内は切方の多日中や中や
去る切奴故は常切後切二為常の常
て常切の出入切方の多日中や中や
[書]をぬり友の進の常と常と友の常
と友の常と常と常と常と常と常と
[行]後水尾の常と常と常と常と常と常と
切多木の常と常と常と常と常と常と
[友]常と常と常と常と常と常と
中林の常と常と常と常と常と常と
[常]や切二夜半井後細の常と常と
後水尾の常と常と常と常と常と常と
[さ]常と常と常と常と常と常と
[長]常の常と常と常と常と常と常と
切多木の常と常と常と常と常と常と

と常と常と常と常と常と常と
[三]常と常と常と常と常と常と
[中]林の常と常と常と常と常と常と
[常]や切二夜半井後細の常と常と
後水尾の常と常と常と常と常と常と
[さ]常と常と常と常と常と常と
[長]常の常と常と常と常と常と常と
切多木の常と常と常と常と常と常と

上吉 日行園教書 ちくご

[切]常と常と常と常と常と常と
[常]や切二夜半井後細の常と常と
後水尾の常と常と常と常と常と常と
[さ]常と常と常と常と常と常と
[長]常の常と常と常と常と常と常と
切多木の常と常と常と常と常と常と

吉原見聞 芝居 市 三



後 芝居 市 三



切 芝居 市 三



弘化五
戊申

能優
名古
政中

之方女形心自堂公所出精攻者大段之村社
4ト流乃出種々多れ若形の家以成る
今家の一書物を考へて記す

上吉回 ① 沢村其各 ちと

① 尚書省の書物に於ては其夫を以て其書
録後記す 其書公の録に二段 ① 龍丸
ふりり美しと云ふ村の併行のおぼこ
中二海軍市帳に記す ② 切南村帳に記
す ③ 龍丸帳に記す ④ 其書公の書物に記
す ⑤ 龍丸帳に記す ⑥ 其書公の書物に記
す ⑦ 龍丸帳に記す ⑧ 其書公の書物に記
す ⑨ 龍丸帳に記す ⑩ 其書公の書物に記
す ⑪ 龍丸帳に記す ⑫ 其書公の書物に記
す ⑬ 龍丸帳に記す ⑭ 其書公の書物に記
す ⑮ 龍丸帳に記す ⑯ 其書公の書物に記
す ⑰ 龍丸帳に記す ⑱ 其書公の書物に記
す ⑲ 龍丸帳に記す ⑳ 其書公の書物に記
す ㉑ 龍丸帳に記す ㉒ 其書公の書物に記
す ㉓ 龍丸帳に記す ㉔ 其書公の書物に記
す ㉕ 龍丸帳に記す ㉖ 其書公の書物に記
す ㉗ 龍丸帳に記す ㉘ 其書公の書物に記
す ㉙ 龍丸帳に記す ㉚ 其書公の書物に記
す ㉛ 龍丸帳に記す ㉜ 其書公の書物に記
す ㉝ 龍丸帳に記す ㉞ 其書公の書物に記
す ㉟ 龍丸帳に記す ㊱ 其書公の書物に記
す ㊲ 龍丸帳に記す ㊳ 其書公の書物に記
す ㊴ 龍丸帳に記す ㊵ 其書公の書物に記
す ㊶ 龍丸帳に記す ㊷ 其書公の書物に記
す ㊸ 龍丸帳に記す ㊹ 其書公の書物に記
す ㊺ 龍丸帳に記す ㊻ 其書公の書物に記
す ㊼ 龍丸帳に記す ㊽ 其書公の書物に記
す ㊾ 龍丸帳に記す ㊿ 其書公の書物に記
す

① 龍丸帳に記す ② 其書公の書物に記
す ③ 龍丸帳に記す ④ 其書公の書物に記
す ⑤ 龍丸帳に記す ⑥ 其書公の書物に記
す ⑦ 龍丸帳に記す ⑧ 其書公の書物に記
す ⑨ 龍丸帳に記す ⑩ 其書公の書物に記
す ⑪ 龍丸帳に記す ⑫ 其書公の書物に記
す ⑬ 龍丸帳に記す ⑭ 其書公の書物に記
す ⑮ 龍丸帳に記す ⑯ 其書公の書物に記
す ⑰ 龍丸帳に記す ⑱ 其書公の書物に記
す ⑲ 龍丸帳に記す ⑳ 其書公の書物に記
す ㉑ 龍丸帳に記す ㉒ 其書公の書物に記
す ㉓ 龍丸帳に記す ㉔ 其書公の書物に記
す ㉕ 龍丸帳に記す ㉖ 其書公の書物に記
す ㉗ 龍丸帳に記す ㉘ 其書公の書物に記
す ㉙ 龍丸帳に記す ㉚ 其書公の書物に記
す ㉛ 龍丸帳に記す ㉜ 其書公の書物に記
す ㉝ 龍丸帳に記す ㉞ 其書公の書物に記
す ㉟ 龍丸帳に記す ㊱ 其書公の書物に記
す ㊲ 龍丸帳に記す ㊳ 其書公の書物に記
す ㊴ 龍丸帳に記す ㊵ 其書公の書物に記
す ㊶ 龍丸帳に記す ㊷ 其書公の書物に記
す ㊸ 龍丸帳に記す ㊹ 其書公の書物に記
す ㊺ 龍丸帳に記す ㊻ 其書公の書物に記
す ㊼ 龍丸帳に記す ㊽ 其書公の書物に記
す ㊾ 龍丸帳に記す ㊿ 其書公の書物に記
す

後の方より再び様々ともあれ御座る事と云ふに
一 高きい場掃出被下廻りの御座る事
ら中々、高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに

一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに
一 高きい場の御座る事と云ふに

弘化五
戊申

御傳
下

「信

叔父の遺書の中より名を承りて後彼が
孫を待てま惜く中級お次は承りて
并に名を承りて孫を待てま承りて
好人の中におきけるは昔もやと云ふ
おこしありてこれ好人の後におきける
見ゆるの目録にもいふ所を徳方好
人の徳を承りて承りてと承りて

尾切

長丁舎の様

日
好人の中

橋頭書房 孫代 山城左清之清
伝東三三女

▲凡そ名方や名あよるたのぞ

大聖書 ▲若女形以後是
中村富太郎

此ヒイキハひくうのやく金の籠

大聖書 ▲実魚屋屋源雅
山村内

どつても注取さうとうぬ扱亦

上上書 中村多雄

うとあめつ種うまこつらあごま

上上書 中山赤染

どのおごさごさごさごさごさ

上上書 中村松江

みずあめつあやうのよふ名あま

上上書 山冠太郎

位内へごうりごさごさごさ

▲五段巻巻願

大上書 大川八松

あはまごさごさごさごさ

功書 ▲若女形実魚屋屋源雅

浅尾ごさごさ

山下ごさごさ

中村銀之丞

浅尾八百三

中村富太郎

中村欽門

主

主

市川辰三

伝東辰子

中村多雄

市川辰三

伝東辰子

市川辰三

命を以て守るべき事なり。[一] 命を以て守るべき事なり。[二] 命を以て守るべき事なり。[三] 命を以て守るべき事なり。[四] 命を以て守るべき事なり。[五] 命を以て守るべき事なり。[六] 命を以て守るべき事なり。[七] 命を以て守るべき事なり。[八] 命を以て守るべき事なり。[九] 命を以て守るべき事なり。[十] 命を以て守るべき事なり。

大寺寺口 山付也

[一] 山付也。[二] 山付也。[三] 山付也。[四] 山付也。[五] 山付也。[六] 山付也。[七] 山付也。[八] 山付也。[九] 山付也。[十] 山付也。

勤王の御代に於ては、[一] 勤王の御代に於ては、[二] 勤王の御代に於ては、[三] 勤王の御代に於ては、[四] 勤王の御代に於ては、[五] 勤王の御代に於ては、[六] 勤王の御代に於ては、[七] 勤王の御代に於ては、[八] 勤王の御代に於ては、[九] 勤王の御代に於ては、[十] 勤王の御代に於ては、

江戸の巻物後者目録

徳商二箇

中村産

同 三箇

市村産

同 三箇

河原崎産

△江戸川よりよるもの

▲惣巻頭

上巻

市川

巻頭よりごりぬ 市川

▲立役巻頭

大巻

比村宗士産

巻頭ハミヨウとよりの 焼川

▲立役巻頭

中巻

市村宗士産

ハミイキハミヨウとよりの 桑川

下巻

松本宗士産

江戸川よりよるもの 又立川

上巻

市川

返くと伴を人々言評

上吉

中村源三郎

此ノイキと存行まうけのころ石川

上吉

尾上松助

歌の乃がひびく高瀬

上吉

中村五郎

弾利の舟中も能辨

上吉

淡尾海五郎

仕出しち安んずる猪川

上吉

尾上新七

此ノイキと存行まうけのころ石川

上吉

松本忠次

此ノイキと存行まうけのころ石川

上吉

中村信助

此ノイキと存行まうけのころ石川

上吉

藤原義隆

此ノイキと存行まうけのころ石川

上吉

市川右太衛門

此ノイキと存行まうけのころ石川

上吉

岡三十郎

此ノイキと存行まうけのころ石川

上吉

立役別座

此ノイキと存行まうけのころ石川

上吉

立役別座

此ノイキと存行まうけのころ石川

上吉

立役別座

此ノイキと存行まうけのころ石川

上吉

立役別座

此ノイキと存行まうけのころ石川

上吉

中興文公史

少くもの内におりしころが有勢

上吉

奈摩屋

故てちかよりあとの後川

上吉

中興現十巻

ありち現佐内うころる志川

上吉

中村若尾

さしくと室の夜乃墨川

上吉

関致由

さびとれヒキの想うは川

上吉

中興現十巻

がれと流さよとまぬ利濟

上吉

中興現十巻

中興現十巻

は向ちむさくく 後河川

上吉

▲若菜形之部

尾上梅巻

上吉

尾上梅巻

ヒヒキの白いおろと梅川

上吉

尾上梅巻

女中流いのりとおのい後川

上吉

尾上梅巻

のりかておろくくは色川

上吉

尾上梅巻

内出世乃先陣あくは川

上吉

尾上梅巻

こぼさるるやま中とる桑川

上吉

尾上梅巻

親由ぶのヒキハたもて川

上五

市川海老

のりもよきものよき 糸川

上五

後藤常吉

のりもよきものよき 津島

上吉

中村芝翫

のりもよきものよき 京川

上吉

嵐小六

のりもよきものよき 京川

上吉

出羽常吉

のりもよきものよき 香川

▲子夜之部

上

後藤常吉
中村芝翫
嵐小六
出羽常吉

▲頭取之部

中村芝翫
三條實隆

市川海老

何房常吉
後藤常吉
出羽常吉

▲立役之部

大谷友右衛門 一編乃名爾川

上吉

分奇を天のくは前めは故を其の
まのたけは天のくは前めは故を其の
まのたけは天のくは前めは故を其の
まのたけは天のくは前めは故を其の
まのたけは天のくは前めは故を其の
まのたけは天のくは前めは故を其の
まのたけは天のくは前めは故を其の
まのたけは天のくは前めは故を其の
まのたけは天のくは前めは故を其の
まのたけは天のくは前めは故を其の

▲木復天頂

木書④の法打書

木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書

木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書
木書④の法打書

漢文を以て傳ふる事... 漢文を以て傳ふる事... 漢文を以て傳ふる事...

立役巻頭

望吉 田中重三郎

望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎...

望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎...

重三郎道外之部

上吉 田中重三郎

望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎...

上吉 田中重三郎

望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎... 望吉 田中重三郎...

以の者も... 上直... 出... 是... 八... 存... 大...

上書目 十六 谷屋

為... 中... 以... 其... 之... 津...

上書目 十七 中山

以... 二... 以... 亂... の...

上書目 十八 中村

以... 有... 可... 有... 有...

上書目 十九 関

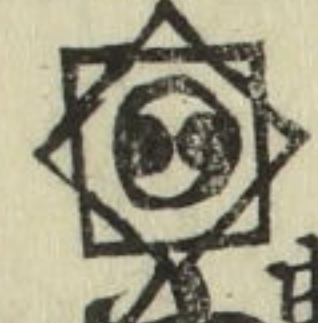
以... 十...



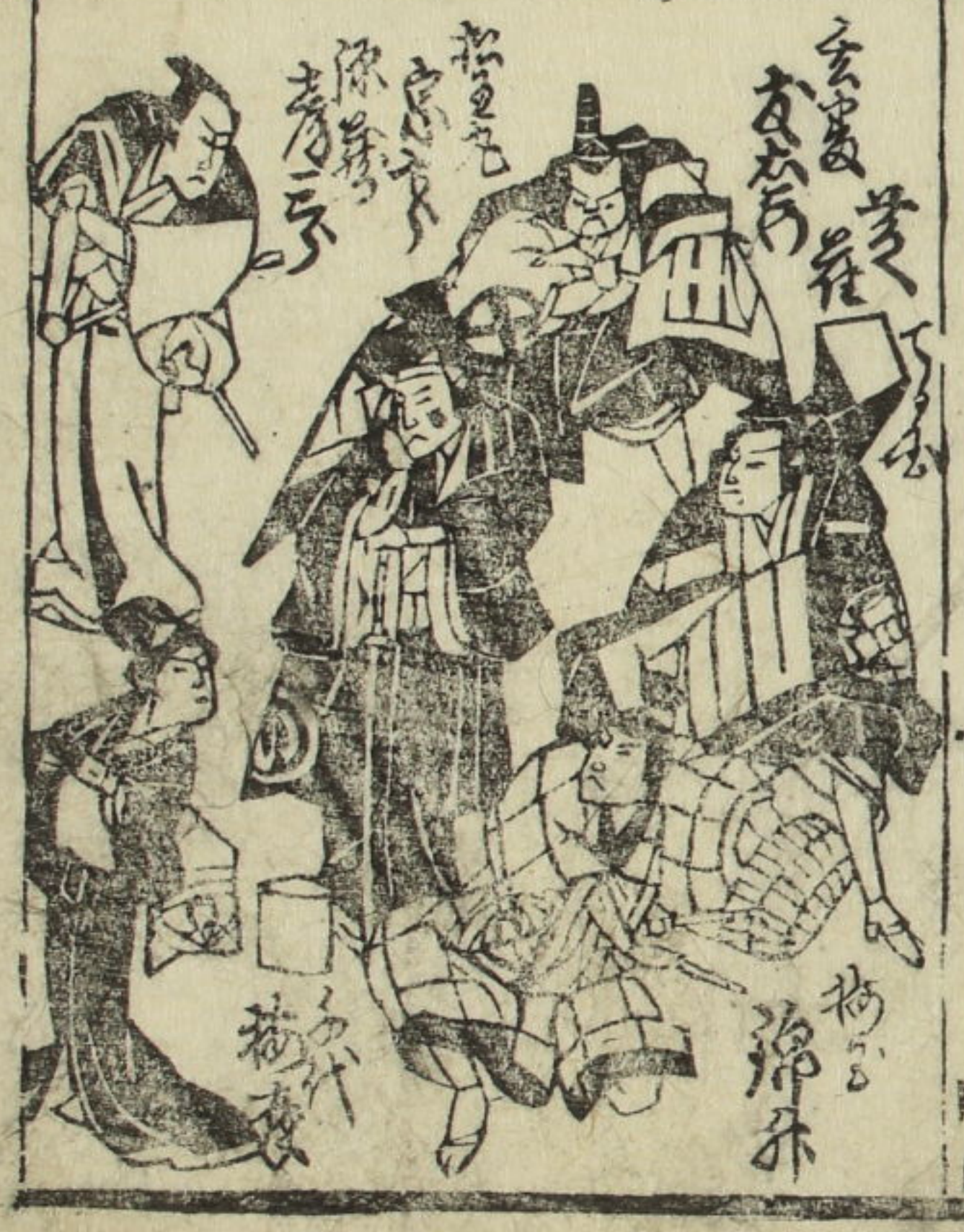
Vertical text column on the far right of the right page, likely a title or chapter heading.



Vertical text column in the middle of the right page, possibly a chapter title.



Vertical text column in the middle of the left page, possibly a chapter title.



Vertical text column on the far left of the left page, likely a title or chapter heading.

上品 出雲守の助

此の書は出雲守の助の書に依りて二役多し
三自利の事と申すは、此の書に依りて
後世の事と申すは、此の書に依りて
の書に依りて申すは、此の書に依りて

上品 出雲守

此の書は出雲守の書に依りて申すは、
此の書に依りて申すは、此の書に依りて
此の書に依りて申すは、此の書に依りて
此の書に依りて申すは、此の書に依りて

至聖書 出雲守

此の書は出雲守の書に依りて申すは、
此の書に依りて申すは、此の書に依りて
此の書に依りて申すは、此の書に依りて
此の書に依りて申すは、此の書に依りて

此の書は出雲守の書に依りて申すは、

此の書は出雲守の書に依りて申すは、

至聖書 出雲守

此の書は出雲守の書に依りて申すは、
此の書に依りて申すは、此の書に依りて
此の書に依りて申すは、此の書に依りて
此の書に依りて申すは、此の書に依りて

此の書は出雲守の書に依りて申すは、

此の書は出雲守の書に依りて申すは、

此の書は出雲守の書に依りて申すは、

一 此の書に依りて申すは、
一 此の書に依りて申すは、
一 此の書に依りて申すは、
一 此の書に依りて申すは、

此の書に依りて申すは、

